

(4)－4 今年度の松本「シンカ」推進会議について これまでの経過及び今後の取組み

年度	テーマと内容	動き
R4	<p>「自然×シンカ」をテーマに分科会形式で議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 2つの「取組みの方向性」をまとめ、自然感の捉え方をアップデート、三ガク都全体・市全体のシンカにつながるアクションの具体化を進める⇔取組みの方向性を庁内で共有し、実計の基盤に据える ➤ R5年度も引き続き「自然×シンカ」の切り口で議論を深める 	<p>必要な市民のアクションや市の取組みについて議論 ～</p>
R5	<p>「自然×シンカ」をテーマに市の事業について議論</p> <p>①グリーンインフラの推進、②サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 担当課で具体的な事業化に向けて検討を進める 	<p>具体的な事業化に向けて担当課を交えて深掘り</p>
R6	<p>第1回 R5会議の振り返り 第2回 「中心市街地再活性」をテーマに全体で議論 第3回 第11次基本計画の検証状況、第12次基本計画策定に向けた基礎調査結果について全体で議論</p> <p>→松本「シンカ」推進会議で行った議論に対する松本市の取組状況が見えると良い →重点戦略について検証の指標があると良い</p>	<p>第12次基本計画策定に向けて議論 ～ 計画案について議論</p>
R7	<p>第12次基本計画策定に向けて議論(第11次検証、素案～原案の協議、パブコメの報告)</p>	
R8	<p>第1回 (6月29日) → 第2回 (9月28日) → 第3回 (1月25日) → 第4回 (3月8日)</p>	<p>基本構想2040に向けた土台づくり ～</p>
R9		
R10	<p>後半:基本構想2030の振り返り ←</p>	
R11	<p>基本構想2040策定に向けた協議(R12. 3基本構想策定に向けて) 後半:第12次基本計画の振り返り ←</p>	
R12	<p>第13次基本計画策定に向けた協議(R13. 3策定に向けて)</p>	

令和8年度松本「シンカ」推進会議の方向性

1 今年度の議論の大きなポイント

- 次期構想を見据えて、基本理念に掲げる「三ガク都のシンカ」の共通認識化
- 今後5年で取組みを強化する「4つの重視する視点」のシンカの可能性を議論
 - 【4つの重視する視点】
 - I 若者と女性の挑戦と定着を支える社会基盤の構築
 - II 学都松本にふさわしい学び環境の充実**
 - III 暮らしの質を高める都市機能の強化
 - IV 新たな価値を創出する多様な産業の振興

2 議論の重点テーマ

- ▶ 「三ガク都」がシンカしたまちの姿
- ▶ 2040年に向けた松本らしい“学び”のあり方

3 “学び”を重点テーマとする理由

- (1) 「4つの重視する視点」に“学び”環境の充実を位置付けていること

【II 学都松本にふさわしい学び環境の充実（第12次基本計画より一部抜粋）】

学都松本の伝統を礎に、学びをまちづくりの中心に据え、保育から高等教育、生涯学習に至る学び環境の充実を図ります。

学びによって市民一人ひとりの成長や自己実現を支えることは、結果として松本の魅力向上や移住・定住の促進にもつながります。

- (2) 地域における学びの重要性が高まっていること
- (3) 移住・定住の促進と学びが密接に関係していること
- (4) 三ガク都に掲げる「学都」の価値を改めて議論し、将来に繋げる必要があること
- (5) “学び”は、地域・産業・文化芸術など多くの分野と関わるテーマであること

4 今後の進め方

- ワークショップ形式をはじめ、効果的な手法を取り入れながら議論を進める。
- 必要に応じて教育委員会や子ども若者部をはじめとする関係課職員も議論に参加するなど、議論の内容の共有及び連携を図りながら検討を進める。